

「サウル、王への道へ」

2025.10.8

聖書に学ぶ 25

I サムエル記 10:1~27

現在、私たちは選挙でリーダーを選びます。しかし神様はイスラエル最初の王を選ぶのに、人数の多い事ではなく、最も小さな部族の中から選ばせる方法を取られました。

主なる神様が選び、立てられたなら、神様の方法で王として相応しい人に育てられます。この時最も大切なのは、謙遜と従順です。私たちの内に謙遜と従順があるでしょうか。

今日の学びの要点

神様が求められる王は、士師やさばきづかさのように神の霊に満たされ、従順に神に従う者です。選ばれたサウルに神様はまず自覚を促されます。そして、自分の力に頼るのではなく、偉大な神の力を信じることを通して、神の栄光を現して下さい。

I、王に選ばれたサウルの心

(Iサムエル記 10:1~16)

1、神に導かれたサムエルはサウルに何をしたのでしょうか。

① Iサムエル記 10:1 :

②サムエルは誰がサウルに油を注いだと言っていますか。...

2、サムエルはしるしとして、これからの預言を語り、その通りになりました。神様が召された確信をサウルは持てたのでしょうか。

①ラケルの墓のかたわらで、2人の人に出会い、何を教えてくださいましたか。

(Iサムエル記 10:2)

②タボルのかしの木の所で、3人の人に出会う。この3人から何を貰うように言われましたか。(Iサムエル記 10:3,4)

③ギベアで町に入るとき、一群の預言者に会い、一緒に預言し、新しい心が与えられ、新しい人に変えられる。(Iサムエル記 10:5~6)

3、サウルは王になることについて何もおじさんに言いませんでした。

(Iサムエル記 10:16)

- ・まだ、自分が神によって王に選ばれた事が信じられない。
- ・自分にはそんな力があると思えない。

Ⅱ、くじで、王に当たったサウル (サムエル記 10:17~27)

1、サムエルはミズパに民を集め、何をしたのでしょうか。

①サムエルは王を立てる事はどういうことだと言っていますか。(サムエル記 10:19)

- ・今まで、悩みと苦しみはから救ってくださった神を捨てる事
—神は身勝手な人間の心を知っておられる—

- ・ご自分は捨てられても、神様は民を憐れみ、民の叫びをきかれる。

—王を立てるために、全てのおぜん立てをしてくださる—

EX: イエス・キリストの十字架はその人たちの罪の贖いのためでもあった。

ここに犠牲の愛がある。

②公にくじで、神が立てる王を選ぶ——ベニヤミン族—マテリ族—キシーサウル
(Iサムエル記 10:20~21)

「くじ」で選ぶ：罪を犯したアカン (ヨシュア記 7章)、使徒の選び(使徒 1:26)

2、サウルは自分が選ばれたとき、どこにいましたか。なぜそのような行動を取ったのでしょうか。(Iサムエル記 10:22)

- ・主なる神様が助けてくださることが、信じられない。
- ・サウルがすべきことは、何でしょうか。(Iペテロ 5:7、詩篇 37:5)